

第三十七回柳川川柳学校報告

日時…令和四年十月三日（月）午後六時～八時

場所…茶房 リエール

参加…伊藤・井口・魚森・菅田・後藤・妹尾・高谷・南部・横田・若槻／

久米田・辻川・吉原

六月以来となる「第三十七回」は会員十四名からの投句があり十三名が参加しました。

前回最優秀作品賞受賞の魚森さんの乾杯の挨拶、久米田校長の開会挨拶からスタートいたしました。



人気投票・自画自賛コーナーを経て、菅田鏡頭の「ナンダ！？カンダコーナー」。鏡頭の実感川柳「明るい老後」十五句が披露されました。その一部を紹介させていただきます。

① ボケてない罵詈雑言が冴え渡る

② 八十路越え十年日記買う余裕

①は新作、②は平成二十四年の作品。つまり十年前に詠まれたものですが、現在でも違和感なく鮮度も落ちていません。更に言えば、江戸川柳が現在でも腐ることなく新鮮な驚きや面白さなどをもって読み続けられていることも納得できるというものです。これこそ川柳の魅力なのでしょう。

さて人気投票の結果です。今回欠席された亀池さんからあらかじめ投票
いただいています。

校長賞・課題句②高谷さん

優秀作品賞・自由句⑤妹尾さん、課題句⑥久米田さん、課題句⑭吉原

最優秀作品賞・課題句⑥伊藤さん

受賞された皆様おめでとうございます。全員の投句は以下の通りです。



あつという間に辻川校長補佐の中締めとなりました。次回は十二月五日
(月)午後六時からです。皆様とお会いできることを楽しみにしています。

用務員報告…吉原

自由句

- ① さあ乾杯貧乏くじとつゆ知らず
- ② 値上がりでのどごしビール喉越さず
- ③ 同窓会夕飯豪華に作り置き
- ④ コロナ禍は梅雨でなくても鬱陶しい
- ⑤ 酒と菓子我が家のボスも二刀流く優秀作品
- ⑥ シニア割使って嬉し恥ずかしや
- ⑦ 病名に老人性付き年ばれる
- ⑧ 八十路過ぎ白寿のハードル遙かなり
- ⑨ 買物で買うのはいつも酒のアテ
- ⑩ 轟音に飛び起きみれば我がイビキ
- ⑪ 高齢者まだ思ってる誰のこと
- ⑫ 大吉か結婚線は三つある
- ⑬ 短パンの白い太ももプール番
- ⑭ 雑草で見えぬ立看「土地分譲」

課題句〜手

- ① 摘まみ食い手を汚さずに食べ残す
- ② 手切れ金ケチったばかりに大やけどく校長賞
- ③ 啄木のごとじつと手を見るシミ、皺の手
- ④ 手助けと思つてしても迷惑に
- ⑤ そつと手を添わせただけの初恋よ
- ⑥ **通勤もメシもトイレも手にスマホく最優秀作品**
- ⑦ オレオレもあの手この手で百変異
- ⑧ 神の手でストップ願うコロナ禍を
- ⑨ **奥の手は出すぞ！出すぞ！で出ずじまいく優秀作品**
- ⑩ 手のひらで転がされつつ五十年
- ⑪ 今更に働き者の手に感謝
- ⑫ じいじの背中流す孫の手星三つ
- ⑬ 一歳の孫娘の手とハイタッチ
- ⑭ **後がない打つ手打つ手が後手になりく優秀作品**

作者く①菅田②高谷③井口④亀池（不在者投句）⑤妹尾⑥伊藤⑦後藤

⑧若槻⑨久米田⑩横田⑪辻川⑫魚森⑬南部⑭吉原



(完)